

2022年6月30日

### 「静岡県内企業経営者の景気見通し調査(2022年7~12月期 B.S.I.)」

## 景況感は4期連続で改善見通しだが、基調は鈍化 ～製造業・非製造業ともにコスト増の影響が深刻化～

静岡経済研究所（理事長 馬瀬和人）では、5月中旬に実施した「静岡県内企業経営者の景気見通し調査」の結果をとりまとめましたので、その内容をお知らせします。

#### 景気見通し

- 2022年下期（7～12月）のB. S. I.（業界景気見通し指数）は、「上昇」（27%）が「下降」（20%）を+7ポイント上回り、景況感の改善を示す結果となった。4期連続でプラスを維持したものの、前回調査のプラス幅+21ポイントから△14ポイント減少する。
- 企業規模別にみると、大企業では「上昇」（28%）が「下降」（13%）を+15ポイント上回り、中小企業でも「上昇」（27%）が「下降」（20%）を+7ポイント上回った。しかし、中小企業のうち製造業が+3ポイントにとどまるなど、製造業を中心に改善基調が鈍化している。
- 業種別にみると、全19業種のうち、「上昇」が9業種、「横ばい」が3業種、「下降」が7業種となった。「サービス業その他」（+12→+27）や「運輸・倉庫業」（+29→+42）で改善の見方が強まる一方、「輸送用機械器具」（+42→△4）や「電気機械器具」（+57→△10）など製造業の主力業種で悪化に転じる見通し。
- 2023年上期の見通しについては、製造業が+15ポイント、非製造業が+8ポイントと、改善を維持する見込み。ただし、非製造業では、企業規模により格差が目立つ。

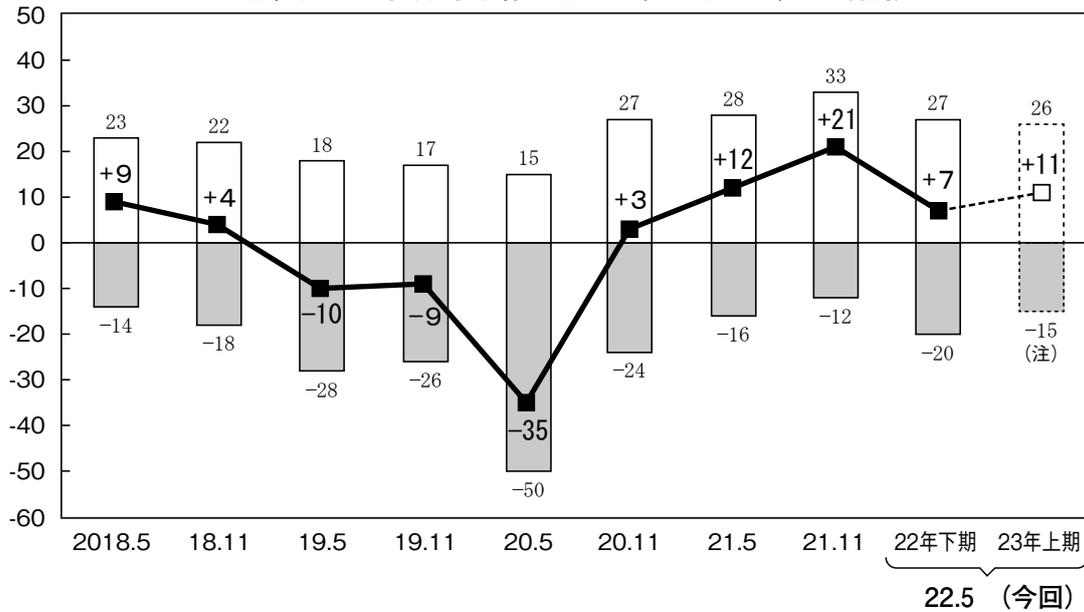
※本件のお問い合わせ先 担当（佐藤 圭介）

## 今月の定例調査

第118回 静岡県内企業経営者の景気見通し調査（2022年7～12月期B.S.I.）

# 景況感は4期連続で改善見通したが、基調は鈍化 ～製造業・非製造業ともにコスト増の影響が深刻化～

図表1 業界景気見通し（B.S.I.）の推移



□ 上昇(%)、■ 下降(%) ■ B.S.I. (「上昇」と「下降」の差を指数化したもの)

(注)2023年上期は2022年下期と比べた業績見通し

## 景気見通し（概況）

□ B.S.I. は22年下期、23年上期ともにプラスを維持する見込み

2022年下期（7～12月）のB.S.I.（※）による業界景気見通しは、「上昇」（27%）が「下降」（20%）を+7ポイント上回り、景況感の改善を示す結果となった（図表1）。4期連続でプラスを維持したものの、前回調査からプラス幅は△14ポイント縮小する。売上額の増加が見込まれる一方、原材料（仕入）価格や賃金の上昇に伴うコストの増加が懸念され、利益確保が厳しくなるとみる経営者が増えている。

企業規模別にみると、大企業では「上昇」（28%）が「下降」（13%）を+15ポイント上回り、中小企業でも「上昇」（27%）が「下降」（20%）を+7ポイント上回った（図表2）。しかし、中小企業のうち製造業が+3にとどまるなど、製造業を中心に改善基調が鈍化している。

2023年上期（1～6月）は、「上昇」（26%）が「下降」（15%）を+11ポイント上回る結果となった。企業規模別でみると、大企業では+20、中小企業でも+11と、プラスを維持する見通し（図表2）。ただし、非製造業では、企業規模により格差が目立つ。

（※）B.S.I.（Business Survey Index）とは、「上昇」と「下降」の差を指数化したもの。次頁の「調査の要領」を参照。

## 業種別見通し

### □製造業、非製造業ともに改善見通しだが、改善幅は縮小

2022年下期の業種ごとの見通しを前回調査と比べると、製造業（+23→+3）、非製造業（+18→+11）ともに改善を見込むが、改善幅は縮小している（図表3）。

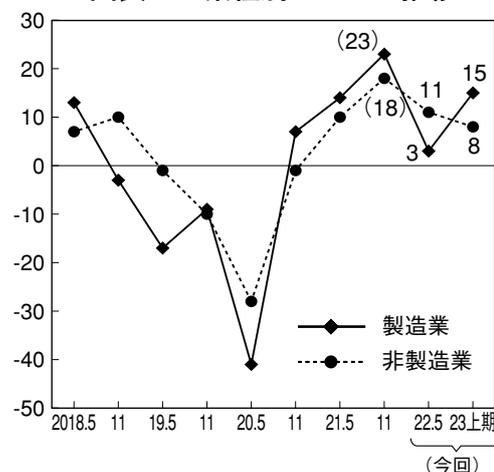
業種を詳細にみると、全19業種のうち、「上昇」が9業種、「横ばい」が3業種、「下降」が7業種となった。「サービス業その他」（+12→+27）や「運輸・倉庫業」（+29→+42）で改善との見方が強まる一方、「輸送用機械器具」（+42→△4）や「電気機械器具」（+57→△10）など製造業の主力業種で悪化に転じる見通し（7頁付表）。

なお、2023年上期の見通しについては、製造業が+15、非製造業が+8と、改善を維持する見込み。

図表2 業種別・規模別 B.S.I. (単位：%)

項目 業種別・ 規模別	回答 企業 数	業 界 景 気							
		2022年7～12月				2023年1～6月			
		上 昇	横 ばい	下 降	B. S. I.	上 昇	横 ばい	下 降	B. S. I.
全 企 業	355	27	53	20	7	26	59	15	11
大 企 業	39	28	59	13	15	28	64	8	20
中 小 企 業	316	27	53	20	7	26	59	15	11
製 造 業	174	25	53	22	3	27	61	12	15
大 企 業	15	33	54	13	20	20	73	7	13
中 小 企 業	159	25	53	22	3	27	60	13	14
非 製 造 業	181	29	53	18	11	25	58	17	8
大 企 業	24	25	62	13	12	33	59	8	25
中 小 企 業	157	30	52	18	12	24	58	18	6

図表3 業種別 B.S.I. の推移



注1) 本調査における中小企業とは、資本金3億円以下または従業員300人以下の企業（ただし卸売業では同1億円以下または同100人以下、小売業では同5,000万円以下または同50人以下、サービス業では同5,000万円以下または同100人以下）であり、それ以外を大企業とした。  
注2) 「2022年7～12月」は「2022年1～6月」と、「2023年1～6月」は「2022年7～12月」と比較した見通しである。

## 調 査 の 要 領

- 調査目的：この調査は、当研究所が1963年より毎年2回実施しているもので、静岡県内企業経営者の自社の業績見通しをもとに、業界景気を調査することを目的にしている。
- 調査対象：静岡県内に本社をおく主要企業。
- 調査方法：各企業に対するアンケート調査。
- 調査内容：①2022年上期（1～6月）に比べた2022年下期（7～12月）、および2022年下期に比べた2023年上期の自社の業績見通し  
②2022年上期に比べた2022年下期の売上額、経常利益などの項目別見通し  
③現在の企業経営上の問題点および今後重視する経営戦略
- 調査時点：2022年5月10日～20日
- 回答状況：調査対象企業764社のうち、有効回答をよせられた企業は355社で、有効回答率は46.5%である。

(注) B.S.I. (Business Survey Index) とは、企業経営者の見通しを数字であらわしたものの。前期に比べて上昇とみる…x、横ばいとみる…y、下降とみる…z について、 $x+y+z=100$  とした時、 $B.S.I.=2x+y-100=x-z$  と定義。全員が上昇とみれば B.S.I. は +100、全員が下降とみると B.S.I. は  $\Delta 100$  になる。上昇と判断する人が多ければ多いほど +100 に近づき、下降とみる人が多ければ多いほど  $\Delta 100$  に近づき、上昇と下降が同数（全員が横ばいとみる場合も含む）の場合、B.S.I. は 0 となる。

## 項目別見通し

### □業種問わず原材料（仕入）価格などが上昇、製造業は経常利益が悪化

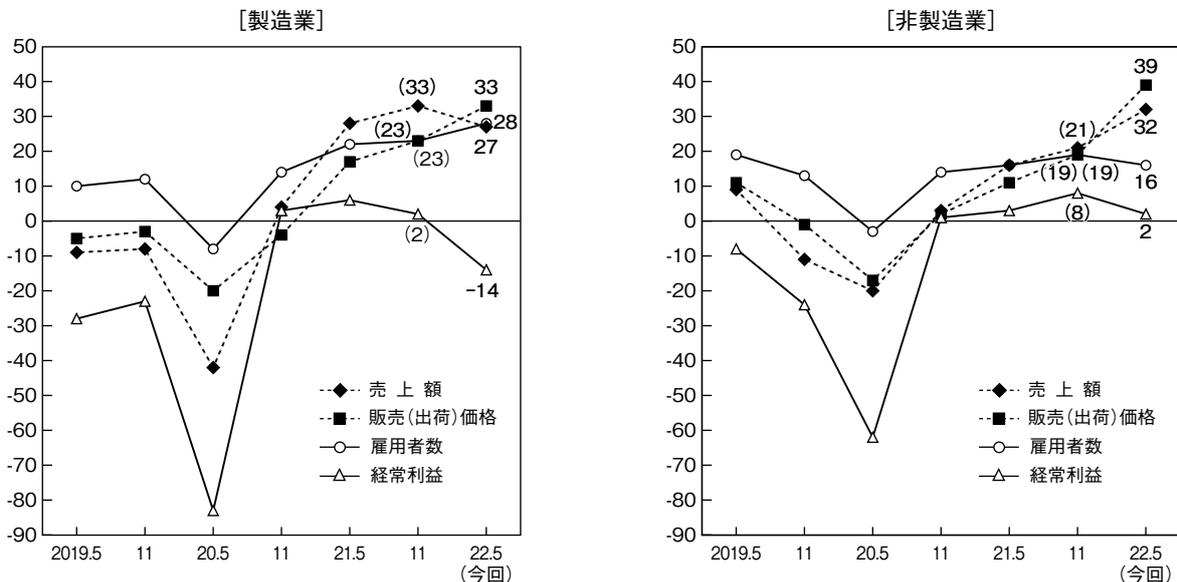
今後の見通しについて項目別に前回調査と比較すると、製造業では、部品不足などの影響もあり「生産量」（+30→+20）とともに「販売数量」（+34→+17）の伸びが鈍化（図表4、5）。加えて、「原材料（仕入）価格」（+77→+88）や「賃金」（+54→+64）がさらに上昇し、製造コストが大幅に増加する見通し。一部が価格転嫁されて「販売（出荷）価格」（+23→+33）が上昇し、「売上額」（+33→+27）は増加基調を維持するものの、結果として「経常利益」（+2→△14）が悪化に転じるなど、厳しい収益環境になると見込まれる。

非製造業でも同様に「原材料（仕入）価格」（+67→+91）や「賃金」（+41→+53）の上昇により、コストが増加する見通し。「販売（出荷）価格」（+19→+39）の上昇により「売上額」（+21→+32）は伸びるものの、「経常利益」（+8→+2）の改善幅は縮小する見通し。

図表4 2022年7～12月の項目別B.S.I.

[製造業]		B.S.I	項 目	B.S.I	[非製造業] (単位：%)	
減少・下降	増加・上昇				減少・下降	増加・上昇
19	46	27	売 上 額	32	17	49
14	47	33	販売（出荷）価格	39	8	47
23	40	17	販 売 数 量	18	22	40
21	41	20	受 注 額	15	20	35
22	42	20	生 産 量	9	19	28
2	90	88	原材料（仕入）価格	91	0	91
1	65	64	賃 金	53	1	54
11	22	11	製品（商品）在庫数	10	7	17
2	30	28	雇 用 者 数	16	6	22
15	35	20	設 備 投 資	10	11	21
15	18	3	金 融 機 関 借 入	△ 3	16	13
39	25	△ 14	経 常 利 益	2	28	30

図表5 主要な項目別B.S.I.の推移



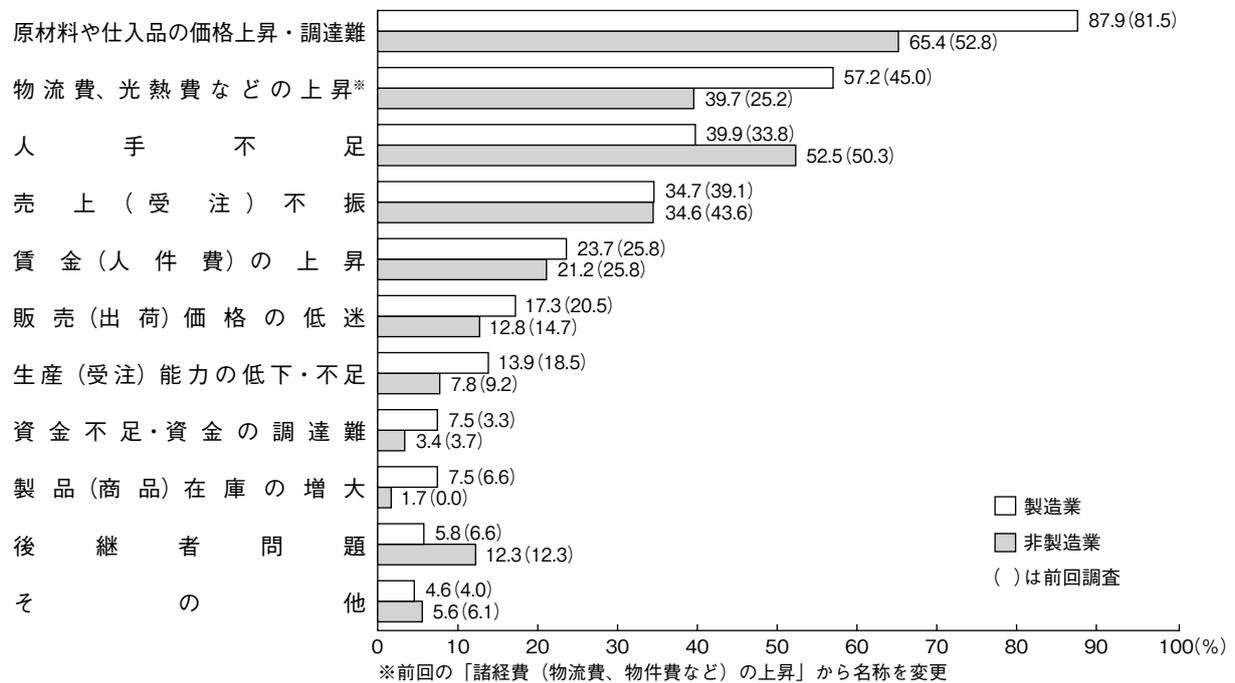
## 経営上の問題点

### □製造業、非製造業ともにコスト上昇が一段と深刻化

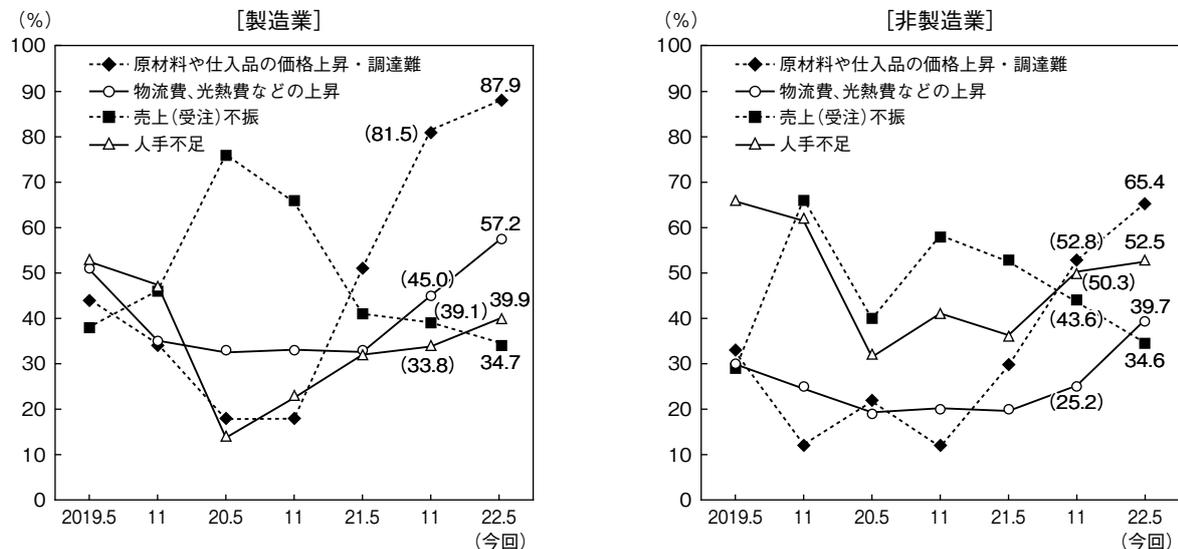
企業経営上の問題点としては、製造業・非製造業ともに「原材料や仕入品の価格上昇・調達難」が最も多かった（図表6）。前回調査と比べると、製造業では+6.4ポイント、非製造業も+12.6ポイント増加した（図表7）。次いで、製造業では「物流費、光熱費などの上昇」（57.2%）、非製造業では「人手不足」（52.5%）が挙げられている。

増加幅としては「物流費、光熱費などの上昇」が、製造業、非製造業ともに最も大きく、利益が圧迫される懸念が広がっている。

図表6 現在の企業経営上の問題点（複数回答）



図表7 主要な企業経営上の問題点の推移



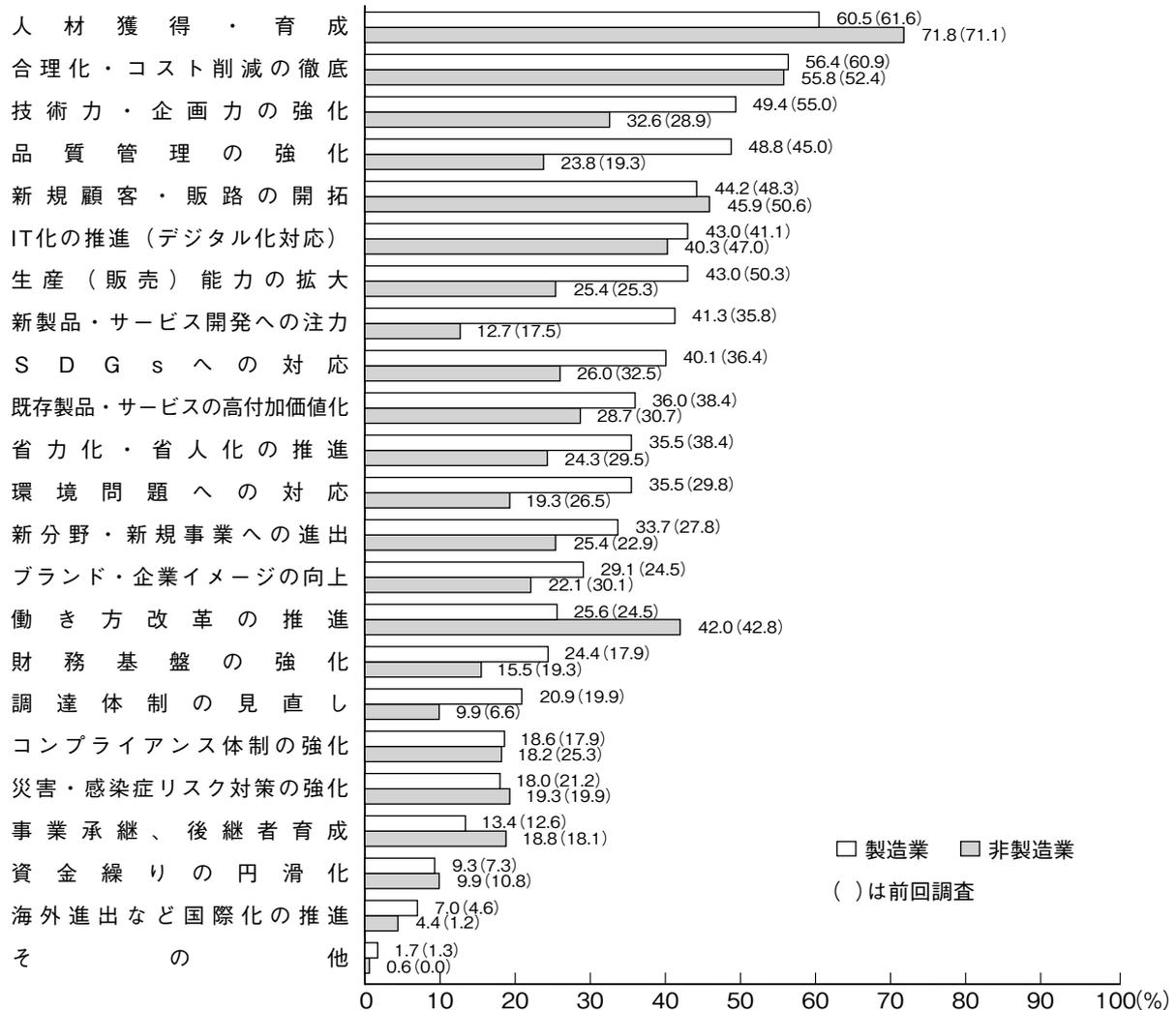
## 今後重視する経営戦略

### □人材獲得・育成を引き続き重視

今後重視する経営戦略としては、「人材獲得・育成」が製造業60.5%、非製造業71.8%と最多で、次いで「合理化・コスト削減の徹底」が製造業56.4%、非製造業55.8%となった（図表8）。

前回調査との比較では、製造業で「新分野・新規事業への進出」（27.8%→33.7%）や「財務基盤の強化」（17.9%→24.4%）、非製造業では「技術力・企画力の強化」（28.9%→32.6%）や「品質管理の強化」（19.3%→23.8%）の増加が目立つ。コスト上昇に対応しつつも、アフターコロナを見据えた攻めの姿勢がみられた。

図表8 今後重視する経営戦略（複数回答）



以上、静岡県内企業経営者による2022年下期の景気見通しは、改善判断が続いた。ただし、2020年上期からの回復基調は、コスト増の影響により鈍化した。コロナ禍による世界的な供給制約に加え、ロシアのウクライナ侵攻の悪影響が長期化する懸念もあり、原材料価格や光熱費の上昇はさらに進むとみられる。県内経営者には、コスト削減と商品・サービスの付加価値向上に一段と注力し、利益を確保していくことが求められる。

（佐藤 圭介）

付表 2022年7～12月の業界景気、自社の見通し(B.S.I.)

項目(B.S.I.) 区分	(業 前 回 景 気)	(業 今 回 景 気)	売 上 額	価 販 売 額 (出 荷 格)	販 売 数 量	受 注 額	生 産 量	(原 仕 入 材 価 格 料)	賃 金	在 製 品 庫 (商 品 数)	雇 用 者 数	設 備 投 資	借 金 融 機 関 入 関	経 常 利 益
	全企業(355)	21	7	30	36	17	17	15	89	58	10	22	15	0
製造業(174)	23	3	27	33	17	20	20	88	64	11	28	20	3	△14
食料品(23)	21	30	70	61	56	61	52	72	65	17	57	18	30	4
繊維品(4)	29	0	25	25	25	25	0	100	75	0	0	△50	△50	△25
木材・木製品(12)	0	△25	0	△9	△33	0	0	92	50	0	17	0	△17	△50
パルプ・紙・紙加工品(18)	0	5	78	89	55	50	56	94	72	0	17	17	0	△11
化学・ゴム製品(10)	13	0	0	0	△20	△11	△22	100	56	0	38	63	0	△45
窯業・土石製品(5)	△25	0	△60	100	△100	△80	△100	100	60	0	0	△60	△25	△40
鉄鋼・非鉄金属(7)	25	△14	0	△14	14	14	14	72	71	0	43	71	0	△15
金属製品(14)	27	15	22	50	21	22	36	79	71	15	29	21	7	15
一般機械器具(25)	20	4	16	29	16	28	24	92	60	4	4	24	13	△4
電気機械器具(11)	57	△10	27	27	18	0	9	100	18	0	45	27	△45	0
輸送用機械器具(31)	42	△4	9	△6	14	0	6	87	73	17	20	20	0	△33
その他の製造業(14)	25	15	43	50	8	36	29	92	71	50	50	29	22	△7
非製造業(181)	18	11	32	39	18	15	9	91	53	10	16	10	△3	2
建設業(39)	△5	△26	△13	24	△20	△10	△3	95	59	△3	21	0	△2	△34
卸売業(34)	25	17	55	61	33	25	14	100	62	12	15	10	0	11
小売業(20)	26	△10	40	41	△5	△14	△25	75	55	6	5	5	0	0
運輸・倉庫業(24)	29	42	41	29	50	23	40	95	50	17	21	9	△5	17
ガス業(5)	25	△20	20	60	△20	0	△50	80	20	20	0	0	△20	△20
サービス業その他(47)	12	27	40	27	39	36	28	81	50	23	19	16	△6	12
ホテル・旅館業(12)	62	42	59	70	40	50	40	100	45	0	18	40	17	42
規模														
大企業(39)	39	15	44	22	31	18	22	71	34	9	29	24	△6	18
中小企業(316)	18	7	28	37	16	17	15	92	61	11	21	14	0	△8
地域														
東部(94)	22	4	35	46	18	19	13	90	57	4	17	14	4	△10
中部(143)	21	9	33	34	22	25	19	85	53	7	21	8	△5	△1
西部(118)	13	10	22	27	10	9	15	94	67	19	27	25	1	△7

※区分の横の()内の数字は回答数